

プロフィール（自己PR）

<p>1974年、大学卒業後、国内損害保険会社を経て、1991年、日米合弁の損害保険会社で経営企画室主査・次長、社長室長、代理店部長、法務・コンプライアンス部長、企画総務部長（経営企画・人事・総務統括（兼お客様の声相談・統括室長））に従事した。在職中から大学等で教鞭を執り、研究機関で研究職に従事し、現在に至る。教育・研究の活動歴は下記のとおり。</p>	
<p>教育活動では主に大学・大学院で教鞭を執ってきているが、専門領域である企業倫理、コンプライアンスを講じる中で、児童・生徒にも共通する規範意識、コミュニケーションの大切さ、地域社会との共生、将来世代へ引き継ぐための持続可能な社会の構築等を、教育委員として伝えていきたい。</p>	
<p>全国ラジオ体操連盟公認 1 級ラジオ体操指導士であり、区民の健康づくりの推進策としてラジオ体操を組み入れたいと考えている（区立哲学堂公園で、毎朝ラジオ体操指導をしている）。公認障がい者スポーツ指導員であることから、障がい者のスポーツ参加を積極的に促し、共生社会の実現をめざしたい。</p>	
<p>（教育・研究活動歴）</p>	
2006年～2019年	立教大学大学院経済学研究科・ビジネスデザイン研究科兼任講師
2008年～2010年	早稲田大学企業倫理研究所客員研究員
2008年～2014年	ビジネスクリエーター研究会理事／2014年～現在 同学会評議員
2010年～2012年	東京交通短期大学特別講座講師
2013年～2016年	同大学非常勤講師
2011年～2017年	杏林大学保健学部非常勤講師
2011年～現在	一般社団法人経営倫理実践研究センター シニアフェロー
2012年～2015年	立教大学 MBA・日経 Biz アカデミー講師
2013年～現在	立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科兼任講師
2015年～現在	一般社団法人日本損害保険協会講師
2018年～現在	東京都中野区スポーツ推進委員
2019年～現在	社会福祉法人むうぶ評議員
<p>以上</p>	

教育委員になった際に取り組む課題（簡条書き）

※優先度の高いものから順に、3項目以内で記入してください。

1. (課題) 小中学校において新型コロナウイルス感染症のクラスター発  
生時の児童・生徒の安全を最優先に考えた学習のあり方 について

その解決方法（簡条書きで簡潔に）

○ICTによる在宅学習

・家庭でのICT環境の事前整備：全家庭へPC、タブレット等の平等貸与。

・全児童・生徒が機器の操作等を理解できるよう、授業内での体制整備。

・特別支援学級、特別支援教室、特別支援学校の児童・生徒への特段の配慮。

○登校を認める場合の学校内の対応の具体策のマニュアル化。

2. (課題) 児童・生徒を健全に育成するための  
家庭・地域・学校の連携・協力体制の構築 について

その解決方法（簡条書きで簡潔に）

○家庭からの相談と支援体制の構築と整備。

○地域ぐるみで児童・生徒を見守る地域コミュニティ構築への支援。

○学校が家庭や地域と連携するために、全教職員がコミュニケーション能力を発揮できる体制支援。

3. (課題) 地域における学習、芸術、スポーツ活動の活性化  
を図り、区民の積極的な社会参加への支援 について

その解決方法（簡条書きで簡潔に）

○区民が生涯学習について理解を深め、活動ができるためのプログラムの策定・整備

○なかのゼロホール、キリンレモンスポーツセンター(アリーナ)等を活用して芸術イベントの開催。

・区内在住の音楽家等への協力依頼。

○スポーツ、健康づくりの推進策の策定・周知。

・ラジオ体操の一層の普及 ・スポーツが見近に感じられるプログラムの策定・周知。

・障がい者のスポーツへの積極的参加促進等。

氏名 渡部 正治

教育委員に応募する理由（横書きで記入してください）

わ	が	国	の	経	済	・	社	会	環	境	は	、	新
型	コ	ロ	ナ	ウ	イ	ル	ス	感	染	症	の	ま	ん
で	か	つ	て	な	い	状	況	に	至	っ	て	い	る。
児	童	・	生	徒	を	取	り	巻	く	教	育	環	境
一	変	し	た。	子	ど	も	た	ち	の	教	育	機	会
の	確	保	と	充	実	は	喫	緊	の	課	題	で	あ
	こ	の	課	題	解	決	の	イ	ニ	シ	ア	千	ブ
取	る	の	は	教	育	委	員	で	あ	る	と	考	え
あ	り	、	今	般	応	募	し	た	第	一	の	理	由
あ	る。	児	童	・	生	徒	の	安	全	・	安	心	を
最	優	先	に	考	え	た	諸	施	策	の	策	定	と
習	環	境	の	体	制	構	築	を	考	え	た	い。	
応	募	理	由	の	第	二	は	、	児	童	・	生	徒
の	健	全	な	育	成	の	た	め	に	は	、	家	庭
地	域	・	学	校	の	連	携	・	協	力	が	不	可
で	あ	り	、	そ	の	仕	組	み	づ	く	り	と	体
構	築	に	知	恵	を	出	し	、	貢	献	し	た	い。
第	三	の	理	由	は	、	地	域	に	お	け	る	学
習	、	芸	術	、	ス	ポ	ー	ツ	活	動	の	活	性
と	区	民	の	社	会	参	加	を	促	す	こ	と	に
心	し	た	い	か	ら	で	あ	る。					
教	育	委	員	の	役	割	は	、	学	校	教	育	、
社	会	教	育	、	文	化	・	ス	ポ	ー	ツ	に	関
る	区	の	教	育	関	係	事	務	の	大	略	の	管
と	執	行	と	認	識	し	て	い	る。	大	局	観	を
持	ち	、	現	場	に	耳	を	傾	け	、	職	務	に
み	た	い	と	考	え	て	い	る。					

※1枚以内で記入してください